

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム  
派遣先機関等利用マニュアル

2012 年 10 月 10 日

派遣者氏名（専門分野）	多賀 良寛（東洋史学）
-------------	-------------

派遣期間	2012 年 9 月 9 日 ～ 2012 年 9 月 19 日
------	----------------------------------

**派遣研究機関**

国	都市	訪問機関
台湾	台北	故宮博物院図書文献館

**利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法等を記入）**

派遣者は本プログラムによる台湾滞在中に、故宮博物院にて檔案史料の調査を行った。檔案とは中国の明清時代に作成された官庁文書の総称であり、皇帝が臣下に対して出した上諭や、地方官が皇帝に向けて送った上奏などが代表的である。

故宮博物院には清朝の軍機処檔や宮中檔が収蔵されており、北京の第一歴史檔案館と並んで清朝檔案史料の貴重なコレクションを形成している。今回は故宮博物院図書文献館の利用方法について紹介し、今後調査を行う方々の参考としたい。

故宮博物院へ行くには、地下鉄の淡水線で士林駅まで行き、士林駅のバス停から故宮博物院行きのバスに乗車すればよい。事前に悠悠カードを購入しておけば、地下鉄とバスの両方で利用可能である。悠悠カードとは日本でいうところの ICoca カードのようなものであり、駅やコンビニで購入した IC カードに料金をチャージして使用する。交通機関利用時には利用料金の計算や切符購入の手間が省けるほか、地下鉄とバスを連続して利用した場合には割り引きを受けることもできるので、非常に便利である。

図書文献館の開館時間は月曜から土曜までの 9:00 から 17:00 であるが、善本室の開室時間は月曜から金曜までの 9:00 から 11:30 と 14:00 から 16:00 までである(ただし昼食時にも続けて史料の閲覧をする事は可能)。図書館とは違い、土曜日は休室となっている。図書館の近くにはレストランが複数立地しているので、そこで昼食をとることもできる。図書館に入館するには、カウンターでパスポートを提示して記帳を行えばよい。記帳をすると館員からロッカーのカギを渡されるので、バックパック等の荷物はロッカールームに預けた後で入館する。なお証明写真を二枚もっていれば簡単に入館証を作成することができ、便利である。館内は 2 階に各国の雑誌類および故宮博物院や日本・韓国・西欧の出版物が配架されており、3 階には台湾で出版された書籍と参考書が置かれている。開架されている書物については、カウンターでコピーカードを購入すれば自由にコピーをとることができる。檔案史料では各期の宮中檔が 3 階に配架されており、まだ公開されていない道光・咸豊期の宮中檔も閲覧することが可能である。

軍機処檔案と善本は、3 階の善本室で閲覧する。軍機処檔案は善本室内に設置されている三台のパソコンを通して閲覧できるが、閲覧画面に進むには ID とパスワードが必要なので、常駐している係員に尋ねる必要がある。所蔵檔案の検索自体は日本からでもでき、故宮博物院のホームページにアクセスして典蔵資源のタブから院蔵資料庫の項目を選べば、各種檔案史料の検索画面に進むことができる。ただし画像ファイルの閲覧は善本室内のパソコンからのみ可能である。画像ファイルをプリントアウトする場合は室内に置かれているプリンタから行う。プリントアウトは 1 枚につき 3 円で、印刷物を善本室のカウンターに持っていき、係員に枚数を自己申告する。枚数制限などは特に設けられていないようである。図書館員は 2 階のメインカウンターと善本室のカウンターに常駐しているが、みな英語が通じるので、中国語ができなくても最低限のコミュニケーションはとることができる。

